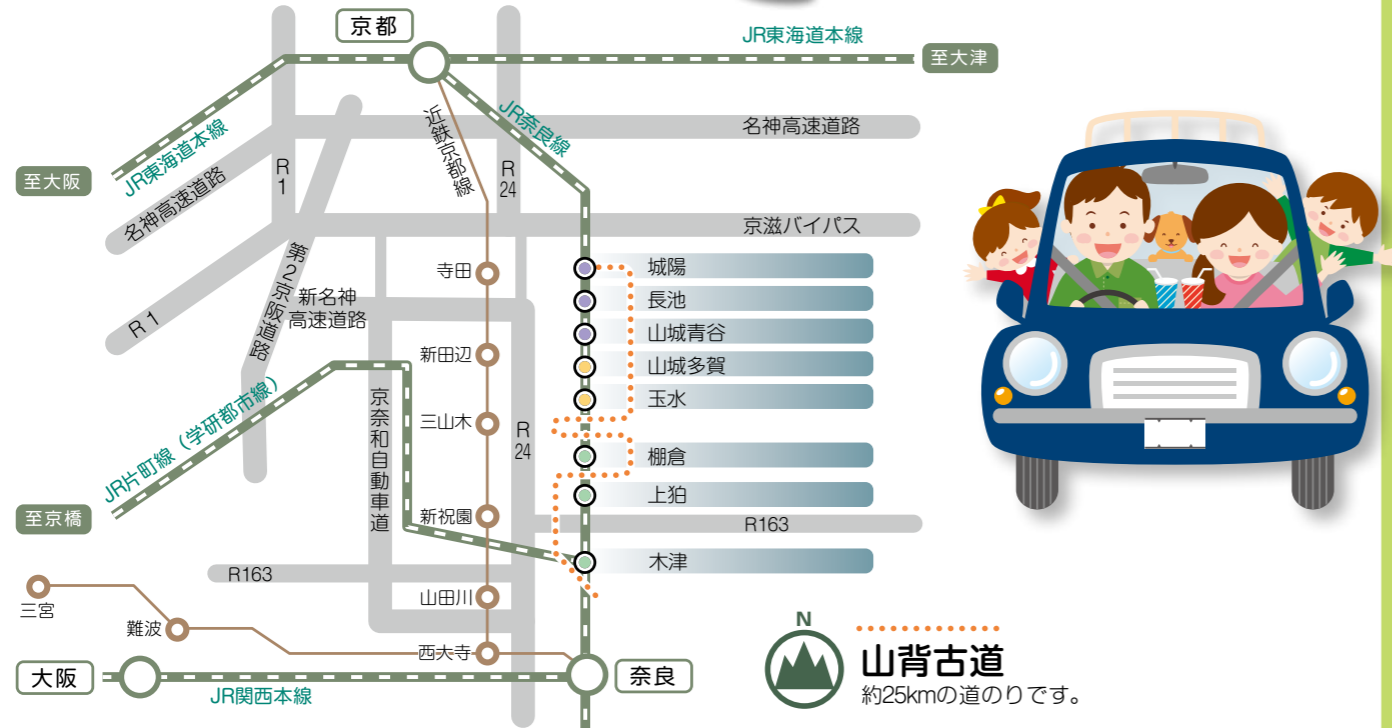


# ACCESS GUIDE



## ● JRを利用する場合は…

京都または奈良からは JR奈良線に乗って、古道沿線の8つの駅（城陽駅、長池駅、山城青谷駅、山城多賀駅、玉水駅、棚倉駅、上狛駅、木津駅）のいずれかの駅で降りてください。  
 大阪からは JR片町線（学研都市線）を利用し木津駅経由または、JR関西本線を利用し奈良駅経由でJR奈良線にアクセスしてください。

## ● 近鉄電車を利用する場合は…

近鉄京都線の寺田駅から徒歩で約15分。  
 または新田辺駅、三山木駅、新祝園駅、山田川駅、高の原駅で下車し、バスまたはタクシーを利用してください。

## ● 車を利用する場合は…最寄の公共駐車場を利用してください。

- 城陽市：城陽市役所・城陽市総合運動公園・城陽五里五里の丘
  - 井手町：自然休養村管理センター
  - 木津川市：木津川市役所・木津川市山城支所（開庁日のみ）
- ※山背古道を自由に散策するならば、最寄りの場所まで公共交通機関と徒歩をおすすめします。

## ● 山背古道推進協議会

事務局：城陽市役所 商工観光課 ☎ 0774-56-4019 〒610-0195 京都府城陽市寺田東ノ口16番地、17番地  
 井手町役場 企画財政課 ☎ 0774-82-6162  
 木津川市役所 観光商工課 ☎ 0774-75-1216



# 山背古道 ガイドブック

## 【お気楽途中下車】

自然と歴史にふれあえる山背古道は歩いてこそ本当のよさが分かります。  
 なんでもスピードアップする時代だからこそ、歩いてみてはじめて発見できることがたくさんあります。  
 道とほぼ並んで走るJR奈良線の電車に乗っていて、思い立って途中下車してアクセスするもよし、  
 歩いていて、好きな風景や好奇心をそそられるスポットに寄り道してみるもよし。  
 山背古道という見どころいっぱいの路線は、いつでも途中下車OK。  
 気ままに歩いて、お気に入りの場所や  
 風景を見つけてください。



山背古道 YAMASHIRO-KODO

城陽市 ◀▶ 井手町 ▶▶ 木津川市 山背古道は約25kmの道のりです

## 城陽市

歴史と未来をつなぎ 人をはぐくむ 緑のまち 城陽



## 井手町

詩歌にもうたわれた眺めのよいまち

## 木津川市

水・緑・歴史が薫る文化創造都市  
～ひとが耀き ともに創る 豊かな未来～



# 山背古道の歩き方



山背古道散策は先を急がない旅。  
古き良き時代の足跡をたどりながら、  
のんびり歩きたいものです。

山背古道とは

### 歴史と出会い 自然とたわむれる道・ 山背古道

山背古道は京都府南部の城陽市、井手町、木津川市の3つの市町にまたがる全長約25kmの散策道です。

南山城の山ぎわをゆるやかにうねるように続くこの小径には、JR奈良線と木津川がほぼ並行し、沿道にはのどかな里山の風景が広がります。ひと足伸ばせば、見どころが多いのも山背古道の特色。梅林や茶畑、ホテルの飛び交う水辺など豊かな自然の風物にふれたり、邪馬台国の謎を秘めた史跡、山城の国一揆の舞台になった集落、街道を残す町並みなど歴史への好奇心を掻き立てる場所を訪ねることができます。

どこか懐かしい風景の中にいろいろな出会いと発見があるのが山背古道を歩く最大の魅力なのです。



出発前に  
準備  
すること

### 古道にでかけるときは 歩きやすい格好で



山背古道へは動きやすく、汗を吸いやすい素材の服装で出かけましょう。長距離を歩くことになるので靴ははきなれた歩きやすい靴、できればウォーキング用のシューズを用意するとよいでしょう。帽子をかぶると、暑さ・寒さ対策になります。

古道には飲食店がほとんどありませんが、お弁当を食べるスポットはたくさんあるので、必ずお弁当と水筒は持って行きましょう。

またゴミ袋を持参して、自分が出したゴミは必ず持ち帰るようにしましょう。

\*山背古道探検地図(350円)や山背古道探検マップ(無料)を携行すると、散策がより楽しくなります。

# 山背古道案内板

- 城陽市
- 井手町
- 木津川市

山背古道を歩くとき、知っているると便利な情報を紹介します。

## 山背古道とまちの関係

### 山背古道が通る3つの市町

#### 城陽市 6/7ページ

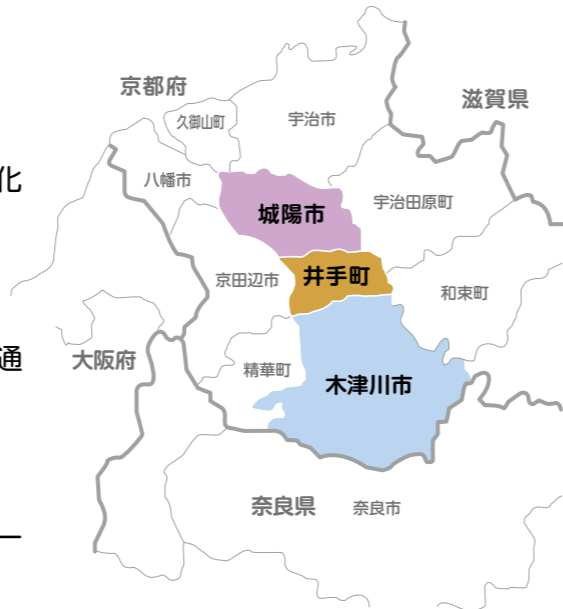
京都から五里、奈良から五里の位置にあり、古くから文化が開化し、歴史ある史跡や社寺が数多く残っています。

#### 井手町 8/9ページ

山背古道が通る3市町のなかで、ルートが比較的、高台を通過するため、抜群の眺めが楽しめます。

#### 木津川市 10/11ページ

昔から水陸交通の要衝として栄え、山背古道とルートが一部重なる奈良街道の町並みなどは、魅力がいっぱいです。



## サインの紹介

### サインをたどって山背古道



### 山背古道を歩くときは山のマークのサインが目印

山背古道のルートには道案内としてサイン〈道しるべ〉が所要所に設けられています。

サインは目的地の方向と距離を記した道標や、道路に埋め込まれた陶板製の道しるべなど種類がいくつかあり、どれも山背古道のシンボル・山の字を丸で囲んだ山背古道マークが入っています。埋込サインは、大きさや色が異なる4種類のタイプがあります。そのうち茶色のサインは地域の子もたちが手作りしたもので、ひとつひとつ表情の違う山背古道マークと作った子どもの名前が刻まれています。

## 山背古道探検隊

### 山背古道についてもっと知りたくなったら……

#### “探検”が合言葉。ふるさとの魅力を再発見する山背古道探検隊

山背古道探検隊は、「探検」をキーワードに地域の埋もれた魅力を再発見し、楽しみながらまちづくりに取り組んでいくことを目的に設立され、隊員の想いを形にする活動を続けてきています。

主な探検活動には、「お茶探検」「梅探検」「山背古道ウォーク」「おはなし探訪」などがあります。

探検隊に参加するには、正隊員と情報提供のみを受ける通信隊員の2通りの方法があります。入会金は正隊員が500円、年会費は正隊員、通信隊員とも1,000円となっています。



#### 探検隊への申し込み方法

- ①事務局にご連絡ください。申込書をお送りします。
  - ②入会申込書に必要事項を記入の上、ご返送ください。
  - ③入会金、年会費を入金後、正隊員のみ隊員証をお送りします。
- \*ホームページでも受付しています。http://www.yamashiro-kodo.gr.jp

山背古道探検隊事務局（井手町役場企画財政課内）  
〒610-0302 京都府綴喜郡井手町井手南玉水67  
☎ 0774-82-5212 FAX 0774-82-5055

### 探検隊は地域の達人をめざし、多彩な活動を展開中

#### お茶探検

井手町多賀の「<sup>ふるせさえん</sup>古背茶園」では、専門家にご指導いただきながら、茶園の再生とおいしいお茶づくりを目標に、茶園の整備からお茶摘み、手もみ茶体験や茶かきなど、お茶に関するさまざまな活動を行っています。自分たちのお茶をつくってみませんか？

#### 梅探検

城陽市の青谷梅林梅まつりの季節に明治時代の<sup>あおだにぜっしょう</sup>「青谷絶賞」で青谷梅林を巡る「梅探検」を開催します。

#### 山背古道ウォーク

地域のボランティアガイドの皆さんによるガイド付きのウォーキングイベントです。距離も長く設定していませんので、お気軽にご参加ください。

#### おはなし探訪

地域の達人に魅力を語ってもらい、あなたも山背古道の達人になれる「おはなし探訪」を開催します。

#### 新しい探検

山背古道沿いには、昔から引き継がれた暮らしの中に文化財や人など素晴らしい宝物があります。この宝物を見つけ出す探検をはじめませんか。

# 京都と奈良のど真ん中 「五里五里の里」

京都と奈良を結ぶ奈良街道の真ん中に位置し、京都から五里、奈良から五里にあることから「五里五里の里」と呼ばれてきた城陽市。  
豊富な歴史遺産と四季折々の魅力に富んだ自然と都市機能が調和しています。



市の木 梅



市の花 花しょうぶ



市の鳥 しらさぎ

## 城陽市

山城盆地の中央に位置し、約7万5千人が暮らしています。穏やかな気候と豊かな水の恵みを受け、抹茶の原料となるてん茶をはじめ、イチジク、梅、寺田いも、湧水花きなどの農業が盛んです。また、歴史的に古くから開けた地域で、多くの古墳や史跡を有しています。

商工観光課 ☎ 0774-56-4019 <http://www.city.joyo.kyoto.jp>



### 1 水度神社

鴻ノ巣山ふもとにあるこの神社は松の老樹が生い茂る美しい参道の奥に本殿、拝殿、社務所が立っています。南に面している本殿は、文安5年(1448)に建築され、檜皮葺で正面に千鳥破風をつけた変化のある建物で重要文化財に指定されています。また、文政13年(1830)11月に奉納された「おかげ踊り」の様子が分かる絵馬には、伊勢信仰に名を借りて民衆が激しく踊る姿が描かれています。



### 2 鴻ノ巣山

鴻ノ巣山は海拔117mであり、山頂からは、木津川、淀川が一望でき、遠くには生駒、比叡、愛宕の連山をはるかに望むことができます。春には咲き競う桜やツツジの花が見られます。現在は、散策道や東屋、展望台、「さくら見台」、「花しょうぶ池」が整備されています。



### 3 城陽市総合運動公園

鴻ノ巣山のふもとに広がる約16haの敷地に、体育館、野球場、テニスコート等のあるスポーツゾーンと大芝生広場、ローラースライダーなどのあるレクリエーションゾーンが設けられています。  
☎0774-55-6222



### 4 青少年野外活動総合センター「友愛の丘」

豊かな自然の中にあり、300人収容のキャンプ場と200人収容の宿泊室、プール、グラウンドを備えています。常駐の指導員からキャンプに関して指導やアドバイスを受けることができます。  
☎0774-53-3566



### 5 城陽五里五里の丘 京都府立木津川運動公園

城陽五里五里の丘は、府民の皆さんといっしょに自然を再生する公園として、平成26年春にオープンしました。「楽しむ」「参加する」「はぐくむ」公園として、「熱気球フェスタ」や「はらっぱマルシェ」など、年間を通じてさまざまな活動を行っています。  
☎0774-66-6022



### 6 森山遺跡

木津川を見渡せる丘陵に広がる縄文時代から古墳時代にかけての集落遺跡です。現在は、遺跡公園として遺構の一部が復元されています。



### 7 青谷梅林

青谷梅林の起源についてはあきらかではありませんが、後醍醐天皇の皇子宗良親王の歌に「風かよふ 綴喜の里の梅が香を 空にへだつる 中垣ぞなき」とあることから鎌倉末期ごろにはすでに梅林があったとの説があります。およそ20haの面積に府内随一の白梅が花を咲かせ、芳しい香りが観梅客を魅了しています。例年2月下旬～3月上旬の見頃にあわせ、「春は城陽から」をキャッチフレーズに梅まつりが開催されます。